

# ながさき水防災タイムラインの策定について

## ●防災基本計画

国〔国土交通省等〕、地方公共団体等の防災関係機関は、他の関係機関と連携の上、**災害時に発生する状況を予め想定し、各機関が実施する災害対応を時系列で整理した防災行動計画(タイムライン)**を作成するよう努めるものとする。また、災害対応の検証等を踏まえ、必要に応じて同計画の見直しを行うとともに、平時から訓練や研修等を実施し、同計画の効果的な運用に努めるものとする。

## ●長崎県地域防災計画

県、市町は、他の関係機関との連携の上、災害時に発生する状況を予め想定し、各機関が実施する災害対応を時系列で整理した**防災行動計画(タイムライン)**を作成するよう努めるものとする。

また、災害対応の検証等を踏まえ、必要に応じて同計画の見直しを行うとともに、平時から訓練や研修等を実施し、同計画の効果的な運用に努めるものとする。

## ●防災対策におけるタイムラインについては、**避難の促進など災害対応力の向上に有効な対策の一つ**。今後、3年程度をかけて、水防災タイムラインの策定に取り組む。

県域タイムラインについては、当面 河川氾濫・高潮災害や土砂災害等を対象とする。

(全国的には、水害や火山噴火、地震津波、雪害タイムライン等が策定運用されている)

県域TM → 市町TM → コミュニティーTM → マイタイムラインを段階的に策定する。

※災害救助法適用に関する沖縄県の対応遅れなどにも有効

## ●令和7年度から、研修会、策定ワークショップ等を実施していきたい。今後、スケジュールをお知らせしますので、是非、皆様のご協力をお願いしたい。

# 人と地域を繋ぐ ながさき県域タイムライン

## ▶「タイムライン」とは

災害時に的確な判断や命を守る行動ができるよう、事前に関係機関や自治体、住民等が協議し、「いつ」「誰が」「何を」するかを時系列で整理し合意する防災行動計画である。



## ▶タイムラインの効果

- 効果1 地域で起こる災害やそのリスクの共有と学びに繋がる、**起こりうる災害リスクの共有が進む。**
- 効果2 関係者が、適切な災害対応の視点で課題に気づき、改善に繋げ、**顔の見える中で役割を認識し、合意する計画へ。**
- 効果3 事が起こる前から危機感を共有することで、**的確な判断や正しい避難行動が実現。**
- 効果4 予め「いつ」「だれが」「なにをする」を整理しておくことで、**災害対応の“漏れ・抜け・落ち”を解消。**
- 効果5 担当者の知識や経験にもとづいて防災対応を計画することで、**災害対応の継続性が担保できる。**

## ▶タイムラインの種類とつながり

### 県域タイムライン

県域や流域等の全体を捉えた「広域支援」及び「意思決定支援」をとりまとめた計画

### 市町村タイムライン

対象自治体に着目し、市町村民の命を守るための「意思決定」及び「避難行動支援」をとりまとめた計画

### コミュニティ・タイムライン

対象地区に着目し、地区住民の命を守るための「共助に基づく避難行動」をとりまとめた計画

### マイ・タイムライン (家族と私のタイムライン)

個人や家庭に着目し、自らの命を守るための「自助に基づく避難行動」をとりまとめた計画

当面の取組

